

## ふじのくにNPO活動基本指針（案）のパブリックコメント結果

### 1 意見の募集期間

令和2年12月25日～令和3年1月25日（32日間）

### 2 意見の数

156件（参考：県庁全体のR元平均 7.6件）

### 3 主な意見

|   |   |
|---|---|
| ◆ | 指針の存在意義   |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ NPOは、それぞれ志をもって活動している。行政がNPOに対して活動の方向性を示すことは、「市民が行う自由な社会貢献活動」の健全な発展を促進するというNPO法の趣旨に合わないため、指針の存在意義から再検討すべきである。【今の時代に何が必要か、必要でないか改めて検討すべき】</li> </ul>   |
| ◆ | 策定プロセス  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数回の有識者会議だけでなく、現場のNPOや多方面の専門家など、もっと多くの意見を聞くべきである。【パブコメより前のタイミングでも、広く意見を聞くべき】</li> <li>○ 指針の策定にあたっては、まず、広く市民や企業等の意見を聞き、手を挙げた人たちが主体で作りあげていく形で作成したら良いと思う。【県主体で行うのではなく、多くの主体が協働で行うべき】</li> </ul>  |
| ◆ | 指針の内容   |
|   | <p>◎SDGsに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ NPOは既にSDGsに取り組んでいるが、今後は、SDGsを共通言語に、企業等の社会貢献活動のコーディネーターとして活躍できたらよい。【指針案に肯定的】</li> <li>○ もっとNPO活動をSDGsと関連付けて、SDGsを目標とする指針を策定すべきである。【指針案では物足りない】</li> <li>○ NPO活動は、必ずしもSDGs達成のために行っているわけではないので、NPO活動の全てをSDGsと結び付けられることに違和感を覚える。【指針案に否定的】</li> </ul>  |
|   | <p>◎その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ NPO活動をしている団体には、任意団体もあるため、県内の民間公益活動の実態を反映するならば、広い意味でのNPOを対象とすべきである。</li> <li>○ NPOは、市民が民主主義に参加するためのツールであり、市民の連帯や市民社会を形成するために存在するのであって、社会的課題の解決のために存在しているわけではない。</li> <li>○ NPOの資金不足や人材不足は、主として社会構造や資本主義のせいである。</li> <li>○ SNSの活用自体は否定しないが、情報発信者にはスキルやリテラシーが必要であり、炎上などのリスクがあるため、安易に情報発信を促進すべきではない。</li> <li>○ その他、構成や用語が分かりにくいという指摘、県内NPO法人の各種データ掲載の提案、県の施策としてもっとNPOを支援してほしいという要望など</li> </ul> |